

はじめに もくじ

はじめに もくじ	1
本書をお読みになる前に	2

1 章 パソコンの準備..... 11

1 使う前に確認する	12
2 初めて電源を入れてWindowsセットアップが終了したら... 14	
1 Windowsセットアップ後に行うこと	14
3 リカバリーメディアを作る － TOSHIBA Recovery Media Creator －	16
4 お客様登録の手続き	21
1 東芝ID（TID）お客様登録のお願い	21

本書をお読みになる前に

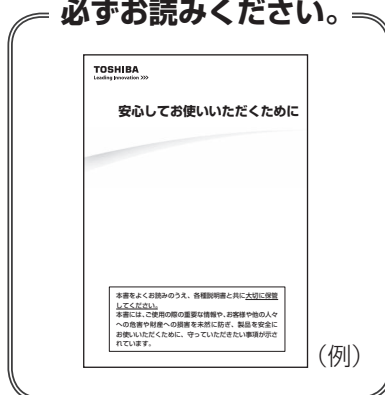
このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。

『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

『パソコンで見るマニュアル』（本書）は、次の決まりに従って書かれています。

必ずお読みください。



1 記号の意味

 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っているると便利な内容を示します。
 役立つ操作集	知っているると役に立つ操作を示します。
 参照	参照先を示します。 ● 表示中のマニュアルの内容を参照する場合…「 」 ● ほかのマニュアル、ヘルプを参照する場合…『 』

＊１ 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊２ 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

＊３ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows

Windows 10 Pro、Windows 8.1 ProまたはWindows 7 Professionalを示します。

Windows 10

Windows 10 Proを示します。

Windows 8.1

Windows 8.1 Proを示します（OSのダウングレードに対応しているモデルのみ）。

Windows 7

Windows 7 Professionalを示します（OSのダウングレードに対応しているモデルのみ）。

ドライブ

パソコン本体搭載のDVDスーパーマルチドライブまたはDVD-ROMドライブを示します。
搭載しているドライブはモデルによって異なります。

DVDスーパーマルチモデル

DVDスーパーマルチドライブを搭載しているモデルを示します。

DVD-ROMモデル

DVD-ROMドライブを搭載しているモデルを示します。

SSD

SSD搭載モデルには、補助記憶装置として、フラッシュメモリを記憶媒体とするドライブが搭載されています。SSD（ソリッドステートドライブ）とは、ハードディスクドライブの記憶媒体である磁気ディスクの代わりに、NANDフラッシュメモリを使用した大容量記憶媒体です。

SSDの補助記憶装置としての機能は、ハードディスクドライブと同等です。

なお、SSD搭載モデルにおいて本書に「ハードディスク」と記載されている場合は、SSDを示します（「外付けハードディスクドライブ」は除く）。

TPM搭載モデル

TPM機能を搭載しているモデルを示します。

Office搭載モデル

Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス、Office Personal Premium プラス Office 365 サービス、Office Home & Business 2016、またはOffice Personal 2016をプレインストールしているモデルを示します。

3 記載について

- ご購入のシリーズによって搭載されているコネクタや拡張スロットなどは異なります。詳細については『取扱説明書』をご覧ください。
- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「****モデルの場合」や「****シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは本体のハードディスクや付属のCD/DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書では、コントロールパネルの操作方法について、表示方法を「カテゴリ」に設定していることを前提に説明しています。
画面右上の「表示方法」が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「カテゴリ」に切り替えてから操作説明を確認してください。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
画面の表示と異なる場合がありますが、読み替えてご使用ください。
- 本書には、記録メディアについて記載している部分がありますが、モデルによって使用できる記録メディアが異なりますのであらかじめご確認ください。

参照 使用できる記録メディアについて『取扱説明書』

- 本書に記載しているURLのホームページを参照する際は、お使いのブラウザのワン ボックス（URL入力欄）にURLを入力して、ホームページを表示してください。

4 Trademarks

本マニュアルで使用している各社の登録商標について記述します。

- Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国および／またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Internet Explorer、Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスター、ウイルスバスター クラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Acrobat は、Adobe Systems Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本マニュアルに掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
目安として、標高 1,000 メートル（3,280 フィート）以上をお考えください。
- 目安として、気温 10～30℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。

これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

■Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [ はじめに] → [リリース情報] をクリックする

■Windows 8.1の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [はじめに] の [ リリース情報] をクリックする

■Windows 7の場合

- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [はじめに] → [リリース情報] をクリックする

8 お願い

- 本体のハードディスクにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 本体のハードディスクにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows 標準のシステムツールまたは本書に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種 (型番) を確認後、当社指定のサービス会社に連絡してください。
HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスクを交換します。
それ以外のパスワードの場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。
- またどちらの場合も、身分証明書 (お客様自身を確認できる物) の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- セキュリティロック・スロットがあるモデルの場合、セキュリティロック・スロットおよび接続するセキュリティケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいっさいの責任を負いません。

- 「ウイルスバスター クラウド™」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。

ウイルスチェックがまったく行われないう状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。

- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書とWindowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 お客様登録について「1章 4 お客様登録の手続き」

9 ユーザーアカウント制御 画面について

操作の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。

パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

10 データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。

バックアップとはハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルを記録メディアなどにコピーしておくことです。

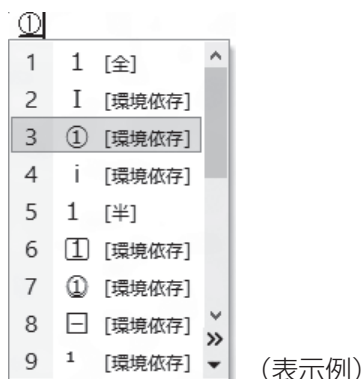
本製品は次のような場合、スリープ、休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、内蔵バッテリーがなくなったとき
- 故障、修理のとき
- メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失については、ハードディスクや記録メディアなどに保存した内容の損害については当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

11 環境依存文字について

環境依存文字とは、入力した文字を漢字へ変換するときに表示される候補の右側に「環境依存」などと表示されるものです。



- ユーザーアカウント名やフォルダー名に環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。
- コンピューター名に環境依存文字が含まれていると、アプリケーションが起動しないなど、正常に動作しないことがあります。
- ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「？」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。
- アプリケーション上でファイルの編集集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。

このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。

CD/DVDなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

12 電源を切った状態での操作について

一部の操作は、電源を切った状態で行うため、本マニュアルを参照しながら操作することはできません。

必要に応じて、本書の該当ページを印刷してから操作してください。

13 「Office」のライセンス認証について

* Office搭載モデルのみ

- Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス、またはOffice Personal Premium プラス Office 365 サービスを使用するには、Windowsのセットアップ後、インターネットに接続して、ライセンス認証を行ってください。
ライセンス認証には、プロダクトキーとMicrosoftアカウントが必要です。
プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。
Microsoftアカウントをお持ちでない場合は、あらかじめ取得しておいてください。
 - Office Home & Business 2016、またはOffice Personal 2016を使用するには、Windowsのセットアップ後、インターネットに接続して、ライセンス認証を行ってください。
ライセンス認証には、プロダクトキーが必要です。
プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。
- ① インターネットに接続し、スタートメニューまたはスタート画面で、「Excel」や「Word」など「Office」のいずれかのソフトをクリックする
以降は、画面の指示に従ってください。

14 映像関連の機能を使用するにあたって

□ 映像を扱うアプリケーションについて

映像を扱うアプリケーションの使用中に、スリープ／休止状態への移行を行わないようにしてください。

エラーメッセージが表示されたり、アプリケーションが終了したりする場合があります。

その場合は、使用したいアプリケーションを再度起動してください。

Handwritten signature or scribble.



1 章

■ パソコンの準備

初めてパソコンを使う前に確認していただきたいことやリカバリーメディアの作成方法などについて説明しています。

使う前に確認する

パソコンの準備

1 箱を開けたらまずはこれから

■箱の中身の確認

『****（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、当社指定のサービス会社にお問い合わせください。

参照▶ 当社指定のサービス会社について『困ったときは』

2 忘れずに行ってください

■保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は当社の無料修理サービスが受けられます。

保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

[illegible]

(例)

3 パソコンの置き場所

- 温度は 10～35℃、湿度は 20～80%の環境にする
- 急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
- 暖房器具などの熱いものの近くには置かない
- 腐食性の薬品のそばに置かない
- 振動などの無い、安定した平らな場所に置く
- 放熱のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する
特に通風孔がある面は、少なくとも壁から 10cm 程度離すようにしてください。
- マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する
- 無線通信装置から離す
携帯電話やスマートフォン／タブレットも無線通信装置の一種です。

4 照明

- 日光や照明が画面に反射しないように設置する
薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
- 明るい照明や日光が直接眼に入るような場所にパソコン本体やディスプレイを置かない

- なるべく、柔らかい間接照明などを使用する
書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面に反射したり、直接目に入らない位置に置いてください。
- 画面の明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節する

5 健康のために気をつけたいこと

- リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
- 適度に姿勢を変える
- 時々立ち上がってストレッチする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
- 1時間を超えて連続した作業をしないようにする
1時間に10～15分程度の休憩時間をとってください。
- 作業時間内にも1～2分の小休止を1～2回とる
- 長時間使用して、身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息する
長時間使い続けると、腕や手首が痛くなることがあります。万が一、休息しても不快感や痛みが取れない場合は、医師の診察を受けてください。
- ディスプレイの角度、輝度、明るさ、コントラストなどを、画面が見やすいように調節する
詳しくは、『ディスプレイに付属している説明書』をご覧ください。
- ディスプレイの表示画面を定期的に清掃する
表示画面がほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなります。

6 使用時の姿勢

- ディスプレイの正面に、適当な高さで距離をおいて座る
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように調節してください。
- キーボードがひじよりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
- おしりよりもひざが少し高くなるように座る
- 背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
- ひざとひじはほぼ90度になるように、まっすぐ座る
前にかがんだり、背もたれによりかかったりしないでください。



(注) 図はイメージ図です。

初めて本製品の電源を入れて、Windows セットアップが終了したら（Windows が使えるようになったら）、次のことを行ってください。

参照 初めて本製品の電源を入れて、Windows セットアップを行う『スタートアップガイド』

1 Windows セットアップ後に行うこと

日付と時刻を確認する

日付と時刻は、通知領域に表示されています。正しく設定されていることを確認してください。正しく設定されていない場合は、日付と時刻を設定し直してください。

日付と時刻の設定方法は、次の方法で確認してください。

Windows 10 の場合

タスクバーの「何でも聞いてください」（）で、「日付と時刻の設定」と入力して検索してください。

Windows 8.1 の場合

スタート画面またはチャームの「検索」欄に「日付と時刻の設定」と入力して検索してください。

Windows 7 の場合

『Windows ヘルプとサポート』を確認してください。

リカバリーメディアを作成する

リカバリーDVD-ROM が付属していないモデルの場合、リカバリーメディアを作成しておくことを強くおすすめします。リカバリーメディアとは、システムやアプリケーションをご購入時の状態に復元（リカバリー）するためのものです。

参照 リカバリーメディアについて「本章 3 リカバリーメディアを作る」

なお、リカバリーメディアを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 リカバリーについて『困ったときは』

Windows を最新の状態にする

インターネットに接続して、「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

「Windows Update」については、次の方法で確認してください。

Windows 10 の場合

タスクバーの「何でも聞いてください」（）で、「Windows Update」と入力して検索してください。

Windows 8.1 の場合

スタート画面またはチャームの「検索」欄に「Windows Update」と入力して検索してください。

Windows 7の場合

『Windowsヘルプとサポート』を確認してください。

定期的にバックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然のパソコンのトラブルによって保存したファイルが使えなくなってしまうことがあります。

このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。

一度なくしたデータを復旧することはできません。

万が一のために、必ず定期的にバックアップをとりましょう。

Windowsでわからない操作があったとき

■ Windows 10の使いかた

Windows 10の使いかたについて調べるには、「Cortana」を使用してください。

タスクバーの「何でも聞いてください」欄に、調べたい機能に関する文字列を入力して検索できます。

「何でも聞いてください」欄が表示されていない場合は、 をクリックしてください。

「何でも聞いてください」欄が表示されます。

■ Windows 8.1の使いかた

Windows 8.1の使いかたについて調べる方法には、次のようなものがあります。

- スタート画面やチャームの「検索」()を使って調べる
- スタート画面の「ヘルプ+使い方」()から調べる
- 「ヘルプとサポート」()から調べる
 - ① スタート画面で、ポインターを動かす
 - ② 画面左下の をクリックする
 - ③ 「Windows システム ツール」の「 ヘルプとサポート」をクリックする

■ Windows 7の使いかた

「スタート」ボタン() → 「ヘルプとサポート」をクリックして、『Windowsヘルプとサポート』を参照してください。

■ Windows について

Windowsの最新情報は次のホームページから確認できます。

URL : <http://www.microsoft.com/>

パソコンにトラブルが発生したときに、パソコンを購入時の状態（初期状態）に戻すことを「リカバリー」といいます。

参照 ▶ リカバリーの詳細『困ったときは』

本製品のハードディスクには、システムやアプリケーションを購入時の状態に戻すためのリカバリーツールが搭載されています。

しかし、トラブルの原因によっては肝心のリカバリーツールを起動できないおそれもあります。

このような場合に備え、リカバリーDVD-ROMが付属していない場合は、あらかじめリカバリーツールをDVDなどの記録メディアにコピーしておくこと（リカバリーメディアの作成）をおすすめします。

ハードディスクからリカバリーができない場合でも、リカバリーメディアからリカバリーができます。

リカバリーメディアの作成は、トウシバ リカバリー メディア クリエイター「TOSHIBA Recovery Media Creator」で行います。
作成したリカバリーメディアは大切に保管してください。



- リカバリーメディアを作成しておらず、ハードディスクからもリカバリーが行えない場合は、修理が必要になることがあります。
当社指定のサービス会社に相談してください。

参照 ▶ 当社指定のサービス会社について『困ったときは』

■リカバリーを行うと

リカバリーをすると、ハードディスク内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、WindowsパスワードまたはWindowsログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

また、データのバックアップについては、普段から定期的に行っておくことをおすすめします。

1 リカバリーメディアに使用できる記録メディア

「TOSHIBA Recovery Media Creator」では、次の記録メディアのいずれかを使用できます。何もデータが書き込まれていないものを用意してください。

- USB フラッシュメモリ
- 記録用のDVDメディア

(DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD+R、DVD+R DL、DVD+RW)

必要な記録メディアの枚数や容量は「TOSHIBA Recovery Media Creator」画面に表示されます。

DVDの場合は、必要な枚数が表示されます。複数枚使用するときは、同じ規格の記録メディアで統一してください。

USB フラッシュメモリの場合は、リカバリーメディアの作成に最低限必要な容量が表示されます。表示される容量より大きい容量のUSB フラッシュメモリを用意してください。

お願い DVDについて／DVDの使用推奨メーカー

- 推奨するメーカーのDVDを使用してください。規格に準拠したDVDを使用してください。

参照▶ 使用できるDVD記録メディア『取扱説明書』

お願い リカバリーメディアの作成にあたって

- 「TOSHIBA Recovery Media Creator」ではDVD-RAMを使用できません。
- 「TOSHIBA Recovery Media Creator」を使ってリカバリーメディアを作成するときは、ほかのアプリケーションソフトをすべて終了させてから、行ってください。
また、本製品の省電力機能が動かないようにしてください。電源OFF／スリープ／休止状態／再起動を実行しないでください。
- あらかじめ、DVD使用上の注意事項やUSB フラッシュメモリ使用上のご注意を確認してください。

参照▶ DVDやUSB対応機器の使用上のご注意『取扱説明書』

2 インストール方法

「TOSHIBA Recovery Media Creator」は、購入時の状態ではインストールされていません。次の手順でインストールしてください。

1 章

パソコンの準備

1 「アプリケーションの再インストール」を起動する

■ Windows 10 の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [アプリケーションの再インストール] をクリックする

■ Windows 8.1 の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [ アプリケーションの再インストール] をクリックする

■ Windows 7 の場合

- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [アプリケーションの再インストール] をクリックする

2 [セットアップ画面へ] をクリックする

3 [ユーティリティ] タブをクリックする

4 画面左側の [TOSHIBA Recovery Media Creator] をクリックし、 [「TOSHIBA Recovery Media Creator」のセットアップ] をクリックする

5 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

「XXXXXX (ファイル名) をXXXXXX (マシン名) から開きますか？」というメッセージが表示された場合は、[開く] ボタンをクリックしてください。

次のメッセージが表示された場合は、[実行] ボタンをクリックしてください。

- 「XXXXXX (ファイル名) を実行または保存しますか？」
- 「XXXXXX (ファイル名) のダウンロードが終了しました。」
- 「このファイルを実行または保存しますか？」

3 リカバリーメディアを作成する

1 「リカバリーメディア作成ツール」を起動する

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [TOSHIBA] → [リカバリーメディア作成ツール] をクリックする

■ Windows 8.1の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [TOSHIBA] の [ リカバリーメディア作成ツール] をクリックする

■ Windows 7の場合

- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [サポート & リカバリー] → [リカバリーメディア作成ツール] をクリックする

2 [タイトル]、[メディア] または [メディア構成] を選択する

必要なDVDの枚数やUSBフラッシュメモリの容量が表示されるので、用意してください。

DVDの場合、画面に表示される枚数分が必要になります。

USBフラッシュメモリの場合、画面に表示される容量が必要になります。

3 [作成] ボタンをクリックする

作成するリカバリーメディアの確認と記録メディアのセットを求める画面が表示されます。

4 DVDまたはUSBフラッシュメモリをセットする

参照 DVDのセット『取扱説明書』

参照 USB対応機器のセット『取扱説明書』

5 以降は、画面の指示に従って操作する

作成が開始されると、画面に、作成しているリカバリーメディアの進捗状況が表示されます。

作成を途中で中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

DVDの場合、作成が終了すると、記録メディアが自動的に出てきます。

作成するメディアが複数枚ある場合は、メッセージに従って記録メディアを入れ替えてください。

作成したリカバリーメディアには、次のことがわかるように目印をつけてください。

- 「リカバリーメディア」であること
- 複数枚ある場合は、番号

たとえばDVDの場合、「リカバリーメディアXX（番号）」というように、レーベル面に油性のフェルトペンなどで記載してください。リカバリーをするとき、この番号の順にリカバリーメディアを使用しないと、正しくリカバリーされません。必ずリカバリーメディア番号がわかるようにして保管してください。

参照 ▶ リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す『困ったときは』

「TOSHIBA Recovery Media Creator」の詳細は、ヘルプを参照してください。

ヘルプの起動方法

- 1 「TOSHIBA Recovery Media Creator」を起動後、[ヘルプ] をクリックする

パソコンやアプリケーションを使用するときは、自分が製品の正規の使用者（ユーザー）であることを製品の製造元へ連絡します。これを「お客様登録」または「ユーザー登録」といいます。お客様登録は、パソコン本体、使用するアプリケーションごとに行い、方法はそれぞれ異なります。

1 東芝ID（TID）お客様登録のお願い

当社では、お客様へのサービス・サポートのご提供の充実をはかるために東芝ID（TID）のご登録をおすすめしております。

詳しくは、次のURL「Room1048（TID）会員サイトについて」をご覧ください。

https://toshibadirect.jp/supportguide/about_sight.aspx

1 東芝ID（TID）の登録方法

インターネットに接続して、次の手順で東芝ID（TID）を登録してください。インターネットに接続している間の通信料金やプロバイダー使用料などの費用はお客様負担となりますので、あらかじめご了承ください。



- インストールしているウイルスチェックソフトの設定によって、インターネット接続を確認する画面が表示される場合があります。インターネット接続を許可する項目を選択し、操作を進めてください。

1 「東芝お客様登録」を起動する

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [東芝お客様登録] をクリックする

■ Windows 8.1／Windows 7の場合

- ① デスクトップ画面で [東芝お客様登録] アイコン () をダブルクリックする
- 登録用のホームページが表示されます。
以降は、画面の指示に従って操作してください。



- 次のURLから、登録用のホームページにアクセスすることもできます。
登録用ホームページ： <http://toshibadirect.jp/room1048/>
商品の追加登録も、登録用のホームページから行えます。